

目標	<ul style="list-style-type: none"> 除法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、小数及び分数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、適切に用いることができるようにする。 面積の意味について理解し、簡単な平面図形の面積を求めることができるようにするとともに、角の大きさの意味について理解できるようにする。 図形を構成する要素に着目して、基本的な図形についての理解を深めることができるようにする。 数量やその関係を式やグラフを用いて表したり考察したりすることができるようにするとともに、目的に応じて依存関係を調べたり分類整理したりすることができるようにする。 	
学期	学習内容・到達目標	学習内容・到達目標
前期	大きな数 ・億、兆の単位と表し方、数の読み方や書き方、大小比較のしかたを知り、整数は十進位取り記数法で表されていることがわかる。	面積 ・広さを数値化するよさに気づき、測定する広さに応じた面積の単位を使うことができる。 ・長方形や正方形の面積を公式を使って求めることができる。
	円と球 ・円や球の定義や性質がわかる。また、それぞれのもつ構成要素の関係がわかる。	
中期	わり算 ・あまりの意味や筆算のしかたがわかる。また、「除数×商+あまり=被除数」の関係がわかる。	小数 ・1/10の位までの小数の加法、減法の計算のしかたを考え、計算ができる。 ・小数の意味とその表し方がわかる。また、小数の相対的な大きさがわかる。
	1けたでわるわり算 ・除法の筆算形式のよさに気づき、筆算しようとする。 ・(2, 3位数)÷(1位数)の筆算や、答えの確かめができる。	
後期	しりょうの整理 ・身近な資料を異なる2つの観点から調べ、その表し方やよみ取り方を考えることができる。 ・図や表を用い、2つの観点に着目して資料を落ちや重なりなく分類整理できる。	がい数 ・四捨五入して、目的に応じた概数を作ることができる。 ・概数の意味を理解し、場面に応じた使い方がわかる。
	角 ・回転の大きさを表す量としての角の意味を理解し、角の大きさを表す「度(°)」がわかる。	
後期	2けたでわるわり算 ・除法の場面を式に表したり、除法の計算の手順に従って処理をしたりすることができる。 ・除数が2位数の場合でも、除法の計算ができる。	折れ線グラフ ・資料を折れ線グラフに表し、そのグラフの線の傾きから、部分の変化や全体的な傾向を読みとることができる。
		式と計算 ・数量の関係を式で簡潔に表したり、式を正しく計算したりすることができる。 ・四則混合の式や()を用いた式の意味を理解し、計算の順序がわかる。
		分数 ・分数の表し方と仕組みがわかり、分数のよさがわかる。また、真分数・帯分数・仮分数の意味がわかる。
		ともなって変わる量 ・伴って変わる2つの数量の間にきまりをみつけたり、表やグラフに表したりすることができる。
		4年のまとめ

算数科の評価

・算数科では四つの観点で評価します。

算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解
知識や技能などの有用さおよび数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気づき、進んで生活に生かそうとする。	算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について見通しをもち筋道を立てて考える。	整数や小数の計算が確実にでき、それらを用いるとともに、図形の面積を求めたり、図形を作図したり、数量の関係などを表したり調べたりする。	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、小数や分数の意味と表し方、面積の意味、基本的な図形の意味および数量の関係の表し方や調べ方を理解している。
・次のような方法で見えていきます。			
発言内容	ワークシート	ノートのまとめ方	プリント テスト 学習態度 取り組む様子
ワークシート	練習問題	ドリル	

おうちの方へ

学習の定着を図るため、算数ドリルや学習プリントなどを活用し、くり返し学習します。家庭学習にも取り入れます。励ましの言葉かけをしていただきますとより学習効果が上がると思います。